

学級活動指導案

指導者 竹原市立竹原中学校 教諭 大平 総一郎

1 日時・場所 平成25年1月9日（水）～16日（水） 第1学年A組教室

2 学年・学級 第1学年A組（男子15名 女子15名 計30名）

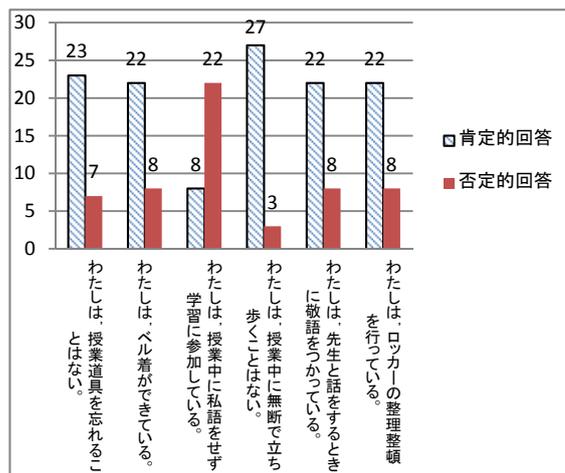
3 題材名 「授業中のルールを考えよう」

4 題材について

(1) 生徒の実態

本学級には、友達との交流を好み、運動会等の学校諸行事や部活動に対して意欲的に取り組む生徒が多い。しかし、ちょっとしたことから友達とトラブルになったり、授業態度に対する教師の指導に反抗的な態度を取ったりする生徒もいる。

事前の実態調査によると、「わたしは、授業道具を忘れることはない。」「わたしは、ベル着ができています。」「わたしは、先生と話をするとき敬語をつかっている。」「わたしは、ロッカーの整理整頓を行っている。」の設問で否定的な回答をした生徒の割合が2割を超えていた。さらに、「わたしは、授業中に私語をせず学習に参加している。」という設問に対しては否定的な回答をした生徒の割合が7割強となっており、授業中、教師の話を聞くということに課題があると言える。



(2) 題材設定の理由

本題材は、中学校学習指導要領に示されている学級活動の内容「(1) 学級や学校の生活づくり」の「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」を扱う。中学校学習指導要領解説特別活動編には、「複雑で変化の激しい社会において、将来の職業や生活を見通して自立的に生きるための『生きる力』を育成することが求められている。特に、自分のよさや個性を生かして、多様な他者と共に、社会、自然・環境とのかかわりの中で、これらと共に生きる自分への自信をもたせることや基本的な生活習慣を確立するとともに、公共の精神など社会生活を送る上で必要な資質や能力などを、発達の段階に応じた活動や体験を通して、体得させていくことが重要な課題になっている。」と示されている。

福島県教育庁相双教育事務所（平成20年）が作成した「特別支援教育支援ガイド（相双版）気づきから効果的な支援へNo.1 ～担任・特別支援教育コーディネーター編～」では、ルールを分かりやすく提示する学級での支援（学級づくり、授業づくり）として、「ロールプレイやゲームなどを通して、ルールに従って活動する場面を設定する。」「遊び方や休み時間などの学級でのルールを具体的に示す。」ことが効果的であったと述べている。また、河村茂雄（2005）は、「学級担任の特別支援教育」において授業時間に戻ってこない生徒への対応として、学級全体のルールづくりを提案している。

そこで、本題材では、授業中のルールを守ることにについて、ロールプレイやゲームなどを通してルールに従う場面を設定したり、学級でのルールを具体的に示したりするなど、特別支援教育の考え方を踏まえた支援を全体に行うとともに、特別な支援が必要な生徒の実態に応じた指導も実施する。このことにより、学級全体及び当該生徒に対して、授業中のルールを分かりやすく理解させ、守ろうという意識の定着を図ることができると考える。

5 題材の目標

- ・ ルールは集団の安全・安心のためにあり、学級の一員としてルールを守ることがいかに大切であるかを理解する。
- ・ 授業中の行動を振り返り、友達を信頼し支え合って集団活動に取り組もうとする態度を身に付ける。

| 集団活動や生活への 関心・意欲・態度 | 集団や社会の一員としての 思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての 知識・理解 |
|--|--|--|
| 学級の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、他の生徒と協力して、自主的、自律的に集団活動に取り組もうとしている。 | 学級の一員としての自己の役割と責任を自覚し、他の生徒の意見を尊重しながら、集団におけるよりよい生活づくりなどについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。 | 充実した集団生活を築くことの意義や、学級の生活づくりへの参画の仕方、学級集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方などについて理解している。 |

6 題材の評価規準

7 事前の活動

- 事前アンケートを通して、自分自身の現在の授業中の態度を振り返り、充実した集団生活を築くために、ルールを守ることの必要性を意識する。

8 指導と評価の計画（全3時間）

| 時 | 学習内容 | 評 価 | | | | |
|---|---|-----|---|--------|---|----------------|
| | | 関 | 思 | 知 | 評価規準 | 評価方法 |
| 1 | 授業中のルールを考えよう (1) ルールの大切さを知る エクササイズ (2) 「私語」の改善ポイント (3) まとめ | | | ○ ◎ | ・私語をなくすための改善ポイントを理解している。 ・ルールを守ることの大切さを理解している。 | 行動観察 ワークシート |
| 2 | 授業中のルールをつくろう (1) 「言葉づかい」について考える (2) 「立ち歩きをなくすための○か条」について語り合う (3) 班での話し合い活動 (4) 発表 | ○ | | ◎ | ・授業中のルールに関心をもち、参加している。 ・与えられた課題を真剣に考え、判断し、信頼し、支え合って実践しようとしている。 | 行動観察 ワークシート |
| 3 | 授業中のルールを再検討しよう (1) 実施後に感じた良かった点、悪かった点を出し合う (2) ルールの再検討 (3) 授業中のルールに関わる個人目標の作成 | | ◎ | ○ | ・与えられた課題を真剣に考え、判断し、信頼し、支え合って実践しようとしている。 ・授業中のルールに関心をもち、参加している。 | 行動観察 ワークシート |

9 本時の展開

(1) 第1時

① 本時の目標

- 学級におけるルールの大切さを理解する。
- 「私語」の改善ポイントを理解し、実践しようとする態度を養う。

② 観点別評価規準

- ルールを守ることの大切さに気付き、感じたことをワークシートに整理している。

【集団活動や生活についての知識・理解】

- 私語改善ポイントをワークシートに理解し、整理している。

【集団活動や生活についての知識・理解】

③ 準備物

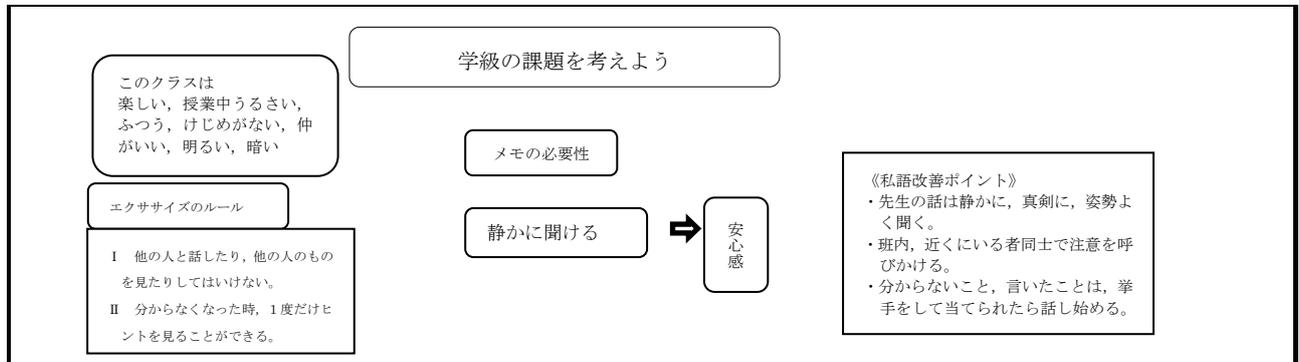
課題シート「動物園は大騒ぎ」、ワークシート、電子黒板

④ 学習の展開

| 段階 | 学 習 活 動 | ○指導上の留意点及び生徒の反応 ◆支援 | 評価規準（観点） （評価方法） |
|---------|--|---|---|
| 導入（5分） | <p>1 学級の様子を語り合う</p> <p>「学級の様子，授業中の様子はどうですか。」</p> <p>2 事前アンケート及び行動観察の結果を聞く</p> <p>3 本時の学習内容を知る 学級の課題について考えよう</p> | <p>○指導上の留意点及び生徒の反応 ◆支援</p> <p>◆机上整理を指示し，落ち着いた状態であることを確認して始める。[支援②④]</p> <p>◆主な発問は電子黒板でも行う。[支援①]</p> <p>○予想される生徒の反応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 楽しい，楽しくない，授業中うるさい，うるさくない，暗い，明るい，けじめがない，ふつう，よく発表する </div> <p>○授業部分の課題をピックアップする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 忘れ物・ベル着・私語・立ち歩き・言葉づかい・整理整頓 </div> <p>○自分たちの意識にある課題と行動観察後の課題を考察し，授業中の課題は特に3項目であることを確認する。</p> | |
| 展開（35分） | <p>4 私語について考える エクササイズの実施</p> <p>(1) 実施目的を伝える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 静かに聞くことよさを体験する </div> <p>(2) 「動物園は大騒ぎ」のやり方と ルールの説明を聞く</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ルール I 他の人と話をしたり，他の人のものを見たりしてはいけない。 II 分からなくなった時，1度だけヒントを見ることができる。 </div> <p>(3) 課題シートを受け取り，エクササイズを開始する</p> <p>(4) 答え合わせ</p> <p>(5) エクササイズの振り返り</p> <p>①ワークシートの記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちがえずに書くために ・自分たちの授業中の様子を振り返って <p>②発表</p> | <p>◆指示は一文で，後付けの指示は行わない。[支援②]</p> <p>◆興味・関心がもてるようゲーム感覚のものを取り入れる。[支援⑤]</p> <p>◆分からなくなった場合はヒント（5匹の動物のうち3匹の動きを説明したものを見せる。）[支援⑦]</p> <p>◆ルールがいつでも確認できるように，活動中は電子黒板に表示し，ルールが確認できるようにしておく。[支援①]</p> <p>◆メモを取る等，工夫していた生徒を評価し，忘れないための重要な対策であることを取り上げる。[支援⑤]</p> <p>◆ルールを守って活動できた時は褒める。[支援⑤]</p> | <p>○ルールを守ることの大切さを理解している。</p> <p>行動観察 ワークシート</p> |

| | | | |
|--------------|---|---|--|
| | <p>(6) 騒がしい状態とエクササイズ中の静かな状態を映像で確認する</p> <p>《私語改善ポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を話し手の方へ向けて聞く。 ・班内、近くにいる者同士で注意を呼びかける。 ・分からないこと、言いたいことは、挙手をして当てられたら話し始める。 | <p>◆自分達の様子をVTRで確認させる。[支援①]</p> <p>◆体を話し手の方へ向けて聞くなど、「私語改善ポイント」を掲示すること、どの場所に掲示するかを明確に伝える。[支援⑦]</p> | <p>○私語改善ポイントをワークシートに整理し、理解している。</p> <p>行動観察 ワークシート</p> |
| まとめ (10分) | <p>5 振返り</p> <p>(1)「自分たちの授業中の様子を振り返ると、何に気を付けるとよいでしょうか。」</p> <p>(2) 発表</p> <p>(3) 次時の予告及び今日からの取組について聞く。</p> | <p>○授業中のルールづくりを行うことを予告する。「言葉づかい」「立ち歩きをなくすための○か条」づくり</p> <p>○「ルールを守ろう週間記録シート」を今日から開始することを伝え、書き方について説明する。</p> | |

⑤ 板書計画



(2) 第2時

- ① 本時の目標

「言葉づかい」「立ち歩き」の改善に関心をもち、協力して改善策をつくりあげる。
- ② 観点別評価規準
 - ・与えられた課題を真剣に考え、判断し、信頼し支え合って実践しようとしている。【集団や社会の一員としての思考・判断・実践】
 - ・授業中のルールに関心をもち、気付いたことをワークシートにまとめている。【集団活動や生活への関心・意欲・態度】
- ③ 準備物

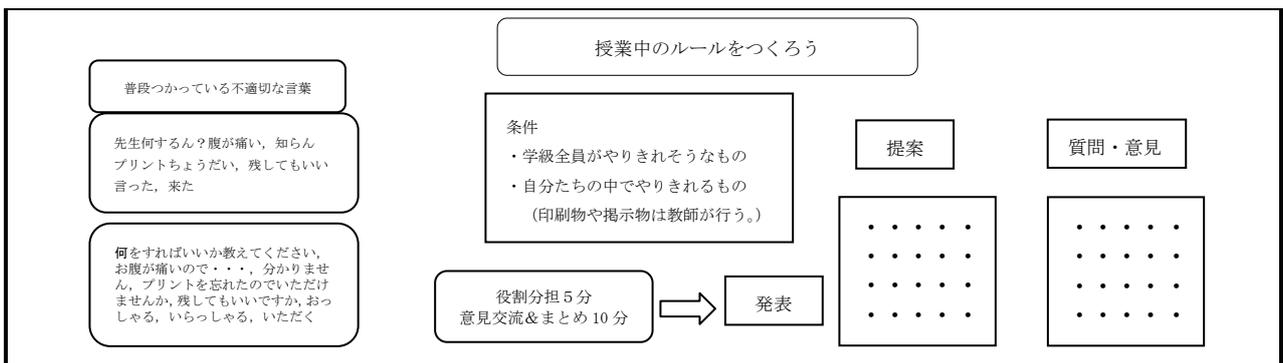
画用紙6枚、ワークシート、電子黒板
- ④ 学習の展開

| 段階 | 学 習 活 動 | 指導上の留意点及び生徒の反応 ◆支援 | 評価規準〔観点〕 (評価方法) |
|------------|---|--|--------------------|
| 導入 (5分) | <p>1 前時の復習</p> <p>《私語改善ポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の話は静かに、真剣に、姿勢よく聞く。 ・班内、近くにいる者同士で注意を呼びかける。 ・分からないこと、言いたいことは、挙手をして当てられたら話し始める。 <p>2 再度事前アンケートの結果と行動観察の結果を知る</p> <p>3 本時の学習内容を知る</p> <p>授業中のルールをつくろう</p> | <p>◆机上整理を支持し、落ち着いた状態であることを確認して始める。[支援②④]</p> <p>○「私語改善ポイント」を思い出させる。</p> <p>○行動観察結果の中の「言葉づかい」と「立ち歩き」に課題があることに気付かせる。</p> | |

| | | | |
|-------------|---|---|--|
| 展開 (40分) | 4 「言葉づかい」について考える (1) 普段つかう不適切な言葉を確認する (2) 不適切な言葉の実演を見て考える (3) 適切な言葉を考え、発表する (4) 言葉づかい改善ポイントを知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 《適切な言葉改善ポイント》 ・「ですます調」で話す。 ・敬語の例を再確認する。 </div> | ○授業中のルールとして、「言葉づかい」についてのルールを教示する。 ○予想される生徒の反応 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 先生何するん、腹が痛い、知らん、プリントちょうだい、残してもいい、終わったらカバンに突っ込んどくけえ、これでええんじゃろ、光って見えん、なくしたんだって、あった、いいよね、(先生が) 言った、来た、見た </div> ◆生徒を指名し、教師とのロールプレイを全体に見せる。[支援①] | |
| | 5 「言葉づかい」についての振り返り (1) 「自分たちの行動を振り返って、何に気を付けるとよいでしょうか。」 (2) 発表 | ◆「適切な言葉改善ポイント」を掲示すること、どの場所に掲示するかを明確に伝える。[支援⑦] ○立ち歩きについて整理しておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ・始業から終業までに離席する ・用事が終わっても速やかに席に戻らない ・無許可で離席する </div> | ○与えられた課題を真剣に考え、判断し、信頼し支え合って実践しようとしている。 行動観察 |
| | 6 「立ち歩き」について考えよう 「なぜ立ち歩きがあるのだろう。」 「立ち歩きが続くとどうなるだろう。」 | ○予想される生徒の反応 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ・友達と話したいから ・トイレへ行きたくなるから ・ロッカーへ物を取りに行きたいから ・他の班の子に勉強を教えてもらいたいから </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ・騒がしくなる ・勉強が分からなくなる ・先生に迷惑をかける ・高校へ行けなくなる ・クラスが困る </div> | ○授業中のルールに関心を持ち、参加している。 行動観察 ワークシート |
| | 7 解決策を考える (1) 個人で考える | ◆解決策の個人意見は例をヒントに考えさせる。[支援⑤] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ・みんなで注意し合う ・授業前にしっかり準備しておく ・トイレは休憩時間に行く ・席を離れる時は、先生の許可を得て席を離れる ・班内で次の時間の準備が全員できたら休憩にする </div> | |
| | I 「立ち歩きをなくすための○か条」 II 守れなかった時の秘策 | | |
| | | | |
| | | | |

| | | | |
|---------------------|--|---|--|
| | <p>(2) 班別で考える</p> <p>ア 話し合いの手順確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①役割分担 (司会, 記録, 発表, パネル提示, パネル記入) ②班内意見交流 ③一つにまとめ発表準備</p> </div> <p>イ 条件の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>条件 ・学級全員がやりきれそうなもの ・自分たちの力でやれるもの (印刷物や掲示物は指導者が行う)</p> </div> <p>ウ ヒントを見て個人で考える</p> <p>エ 班内意見交流開始</p> <p>オ まとめ&発表準備</p> <p>(3) 発表 (各班1分)</p> <p>(4) 発表を聞いて意見交流</p> <p>(5) 「立ち歩きをなくすための〇か条」の決定</p> | <p>◆学級全体の課題として話し合わせる。 [支援⑥]</p> <p>◆見通しを立てる手立て [支援③]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・話し合いの手順 ・時間配分 (①5分, ②③10分) ・話し合いで使用するワークシートを工夫し, 各役割の負担を軽減する ・役割分担の具体内容を黒板に掲示する</p> </div> <p>○主体的な取り組みになるよう二つの条件を与える。</p> <p>○机間指導を行い, 生徒の思考を補助する。</p> <p>○出された意見を基に, 今後取り組む内容を確認する。</p> | |
| <p>まとめ (5分)</p> | <p>8 立ち歩きについての振り返り</p> <p>(1) 「立ち歩きをなくすための〇か条」をワークシートに記入する</p> <p>(2) 次時まで取り組むことの確認発表</p> | | <p>○授業中のルールに関心を持ち, 参加している。</p> <p>ワークシート</p> |

⑤板書計画



(3) 第3時

① 本時の目標

- ・ 「立ち歩きをなくすための〇か条」に関心を持ち, よりよいものにする。

② 観点別評価規準

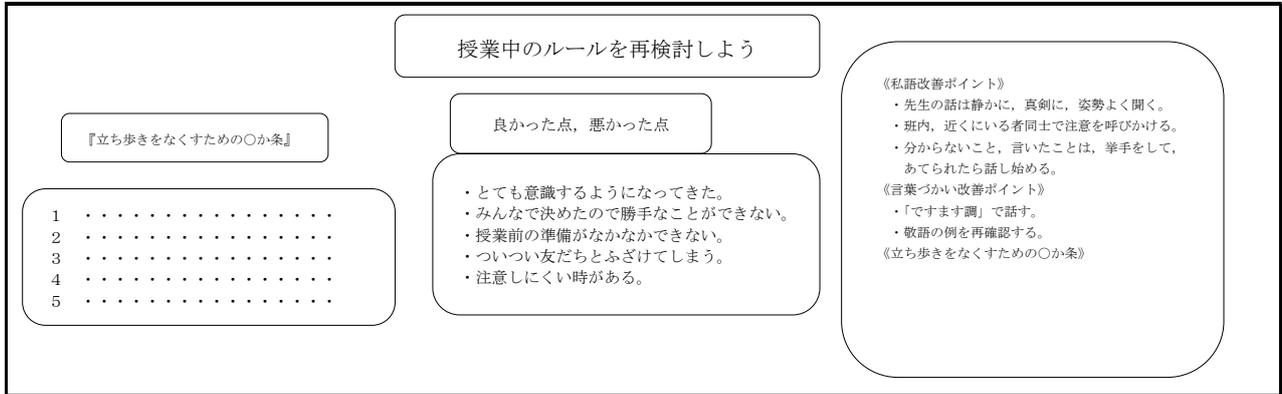
- ・ 授業中のルールに関心を持ち, 気付いたことをワークシートにまとめている。
【集団活動や生活への関心・意欲・態度】
- ・ 与えられた課題を真剣に考え判断し, 信頼し支え合って実践している。
【集団や社会の一員としての指向・判断・実践】

- ③ 準備物
ワークシート, 電子黒板
- ④ 学習の展開

| 段階 | 学 習 活 動 | ○指導上の留意点及び生徒の反応 ◆支援 | 評価規準〔観点〕 (評価方法) |
|-------------|---|--|---|
| 導入 (5分) | 1 前時の復習 「立ち歩きはなくなりましたか。」 2 毎日の記録表の集計結果を聞く 3 本時の内容を知る 「立ち歩きをなくすための○か条」を再検討しよう | ○机上整理を支持し, 落ち着いた状態であることを確認して始める。[支援②④] ○前時に決めた「立ち歩きをなくすための○か条」を思い出させる。 ・守っている。 ・守られていない。 ・先生に許可を得るようになった。 ○守られた部分と守られていない部分を明らかにする。 | |
| 展開 (40分) | 4 「立ち歩きをなくすための○か条」を再検討する (1) 個人意見を考え, ワークシートに記入する (2) 個人意見を基に班で交流する (3) 発表 (4) 再検討すべきところを班で話し合う (5) 再検討した結果の発表 5 授業中のルールを最終確認する 6 授業中のルールに関わる個人目標の作成(自己決定) | ◆今, どのような形で, 何をどうするかを明確化して取り組ませる。[支援③] (例) 班で, 反省点を話し合う。 一人一人が, これまでの行動を考える。 ○予想されるその他の意見 ・とても意識するようになってきた。 ・みんなで決めたので勝手なことができない。 ・授業前の準備がなかなかできない。 ・ついつい友達とふざけてしまう。 ・注意しにくい時がある。 ・先生の許可を取りにくいことがある。 ◆改善されてきた部分を肯定的に評価する。[支援⑤] ○班員の意見を聞いて, 思ったことを個人で発表する。 ◆「私語」「言葉づかい」「立ち歩き」の決まりについて改めて確認し, 今後も, まとめたものを教室掲示していくことを伝える。[支援⑦] | ○与えられた課題を真剣に考え判断し, 信頼し支え合って実践している。 行動観察 ○授業中のルールに関心を持ち, 気付いたことをワークシートにまとめている。 ワークシート |

| | | | |
|-------------|--|--|--|
| まとめ (5分) | 7 振り返り 今後も《私語改善のポイント》《言葉づかひの改善ポイント》《立ち歩きをなくすための〇か条》に取り組むことを確認する | | |
|-------------|--|--|--|

⑤板書計画



10 事後の活動

- ・一定期間、学習した内容を基に授業中のルールを守れているかどうか、個人目標に沿って自己評価・相互評価を行う。

11 特別支援教育の考え方を踏まえた支援

| 支援 | 実践 |
|-----------|---|
| ①視覚的支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板の活用を行う ・絵や写真の活用を行う ・理解を深めるためのロールプレイを行う ・理解を深めるための撮影VTRの確認(授業風景)を行わせる |
| ②聴覚的支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・机や椅子の音や私語等の不必要な音を取り除く ・指示は一文で、後付けの指示は行わない ・指示をする前に、一瞬の間をとる |
| ③見通しをもたせる | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを決め、それに基づいて授業を行う ・ルールの必要性等、ルールを具体化して教示する ・具体的な活動内容を示す ・班活動における役割や時間配分の明確化を行う |
| ④学習環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・机の上に不必要な物を出させない ・話し手に体を向けて聞かせる ・机の位置を整えさせる ・教室前面の簡素化を行う |
| ⑤学習意欲の喚起 | <ul style="list-style-type: none"> ・記入しやすいワークシートの工夫を行う ・授業前のエクササイズを行わせる ・つまづき時における個別の声掛けを行う ・授業中のルールが守られていれば褒める |

| | |
|----------|--|
| ⑥学級集団づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習を取り入れる ・みんなが納得できるルールづくりを行う |
| ⑦記憶支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・決定したルールの掲示を行う ・毎日の確認記録表に記入させる ・ヒントタイムの設定を行う |